

2018年4月10日

■業務用音響機器の信号処理・スピーカー・アンプ技術を高次元で結集
 クラス最高の分解能・ハイパワー・信頼性をコンパクトに実現

ヤマハ パワードスピーカー 『DZR シリーズ』

ヤマハ パワードサブウーファー 『DXS XLF シリーズ』

ヤマハ スピーカーシステム 『CZR シリーズ』

ヤマハ サブウーファー 『CXS XLF シリーズ』

－ ライブ SR から設備音響まで幅広い用途に対応する 11 モデルを 8 月発売 －

ヤマハ株式会社は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、ライブ SR*用パワードスピーカー『DZR シリーズ』、パワードサブウーファー『DXS XLF シリーズ』、ならびにパッシブスピーカーシステム『CZR シリーズ』、サブウーファー『CXS XLF シリーズ』を 2018 年 8 月に発売します。

※ Sound Reinforcement : コンサート用音響

<価格と発売時期>

品名	品番	価格	発売時期
ヤマハ パワードスピーカー	DZR315	オープンプライス	2018年8月
	DZR15	オープンプライス	2018年8月
	DZR12	オープンプライス	2018年8月
	DZR10	オープンプライス	2018年8月
ヤマハ パワードサブウーファー	DXS18XLF	オープンプライス	2018年8月
	DXS15XLF	オープンプライス	2018年8月
ヤマハ スピーカーシステム	CZR15	オープンプライス	2018年8月
	CZR12	オープンプライス	2018年8月
	CZR10	オープンプライス	2018年8月
ヤマハ サブウーファー	CXS18XLF	オープンプライス	2018年8月
	CXS15XLF	オープンプライス	2018年8月

※『DZR シリーズ』『DXS XLF シリーズ』は、「Dante」対応モデルをラインアップ追加予定です。

■関連オプション

スピーカーカバー	SPCVR-DZR315	オープンプライス	2018年8月
	SPCVR-DZR15	オープンプライス	2018年8月
	SPCVR-DZR12	オープンプライス	2018年8月
	SPCVR-DZR10	オープンプライス	2018年8月
	SPCVR-DXS18X	オープンプライス	2018年8月
	SPCVR-DXS15X	オープンプライス	2018年8月

■関連オプション

U ブラケット	UB-DZR15H	オープンプライス	2018年8月
	UB-DZR15V	オープンプライス	2018年8月
	UB-DZR12H	オープンプライス	2018年8月
	UB-DZR12V	オープンプライス	2018年8月
	UB-DZR10H	オープンプライス	2018年8月
	UB-DZR10V	オープンプライス	2018年8月

<製品の概要>

パワードスピーカーは、スピーカーにアンプ機能を搭載することで、それぞれの性能を最大限に引き出すと同時に、可搬性に優れており汎用性も高いため、ライブステージやイベントなどの仮設用途や、高い音圧が要求されるライブハウスなどの常設音響システムで需要が高まっています。当社では、2011年に業務用音響機器開発で培った信号処理技術・アンプ技術・スピーカー技術を結集したパワードスピーカーのフラッグシップ「DSR シリーズ」を発売しました。その後、用途の汎用性が高い「DXR シリーズ」、小型で軽量の「DBR シリーズ」、歪みに強いパワードサブウーファー「DXS シリーズ」とラインアップを拡充し、好評を得ています。



このたび発売する『DZR シリーズ』は、「DSR シリーズ」の後継で、内部処理 96kHz の高性能 DSP と高出力パワーアンプを高品位なスピーカーコンポーネントに内蔵した、ライブ SR 用パワードスピーカーの新世代フラッグシップシリーズです。『DXS XLF シリーズ』は、『DZR シリーズ』との最適な組合せを追求し、大音圧・重低音設計の「DXS シリーズ」から、さらに最低域の低音再生能力を高めたバスレフ式パワードサブウーファーです。『CZR シリーズ』『CXS XLF シリーズ』は、それぞれ『DZR シリーズ』『DXS XLF シリーズ』とエンクロージャー（筐体）や主要コンポーネントが共通仕様のパッシブスピーカーシステムおよびサブウーファーです。これらにより、設備音響からライブ SR まで多彩なニーズに応えるラインアップ構成を実現しました。オプション品は、業務音響の現場の声に応えた、移動用スピーカーカバーや縦・横方向各々に設置性の高い U ブラケットを用意しました。

詳細は、以下の通りです。

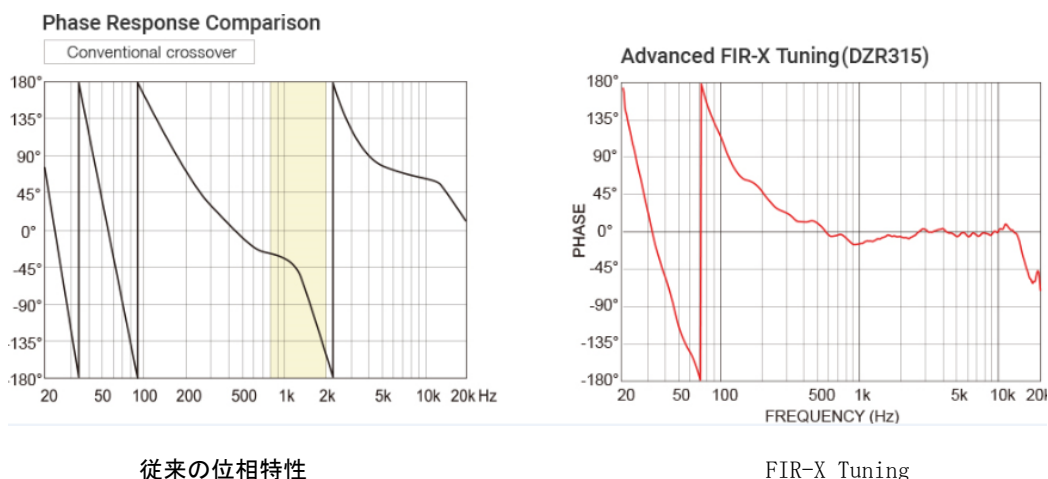
<主な特長>

『DZR シリーズ』 『DXS XLF シリーズ』

1. 内部処理 96kHz DSP による高分解能の音質、大音圧、高度な保護機能

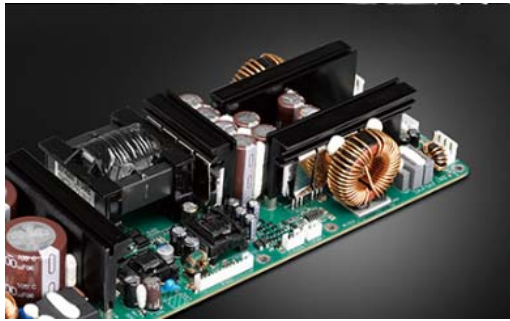
『DZR シリーズ』『DXS XLF シリーズ』は、内部処理 96kHz の高性能 DSP を搭載し、高域、中域（『DZR315』のみ）、低域の各スピーカーユニットの性能を最大限に引き出すと同時に、低レイテンシーも実現しました。また、サウンドチューニングだけでなく、DSP 制御の高度な保護機能により、電源、パワーアンプ、スピーカーユニット全てのコンポーネントを確実に保護します。クロスオーバーでは、リニアな位相特性を持つ FIR フィルターを採用した独自の「FIR-X tuning」処理をさら

に高めた「Advanced FIR-X tuning」により、振幅特性や位相特性を最適化し、分解能に優れた高音質を実現しました。また、プリセット、EQ、フィルター、ディレイ、ルーティングなどのパラメーターをグラフィカルな LCD で操作できることに加え、設定の呼出しや保存、USB での共有など、利便性が格段に向上しました。『DZR シリーズ』は、マルチバンド・ダイナミクス・プロセッサー「D-CONTOUR (Dynamic-Contour)」を搭載しています。アンプの出力レベルをリアルタイムに監視し、人間の聴感特性に合わせて振幅特性をダイナミックにコントロールすることで、音量に関わらず、バランスの良い迫力のあるサウンドを提供するとともに、NORMAL / FOH MAIN / MONITOR の 3 種類のモードで、用途に合わせて最適な設定が可能です。『DXS XLF シリーズ』のサブウーファー専用の低域プロセッシング「D-XSUB」には、NORMAL / BOOST / XTENDED LF の 3 種類のモードを備えています。また、2 台以上のサブウーファーの組み合わせで使用できる「カーディオイドモード」も搭載しました。ステージ側に回り込む低音を軽減し、ステージモニター環境を向上させながら、観客席側の音圧を増大させることができます。



2. 高効率・ハイパワーのクラス D アンプと高品位スピーカーユニットを採用

『DZR シリーズ』『DXS XLF シリーズ』は、新開発の高効率 クラス D アンプユニットを搭載し、軽量・コンパクトな筐体でありながら、『DZR シリーズ』で 2,000W (ダイナミックパワー)、『DXS XLF シリーズ』で 1,600W (ダイナミックパワー) の高出力を実現するだけでなく、質感豊かな低音を生み出します。また、LF (低域) スピーカーユニットは、『DZR シリーズ』は 3 インチ、『DXS XLF シリーズ』は 4 インチのボイスコイルを採用した、高耐入力、低歪設計とし、輪郭を損ねない豊かな低音を実現します。『DZR シリーズ』の HF (高域) スピーカーユニットは、2 インチボイスコイル・1 インチスロートの再現能力に優れたコンプレッションドライバーと指向制御に優れた CD ホーンとの組み合わせにより、優れたダイナミクス、明瞭度、遠達性を獲得しています。これらのアンプ、スピーカーの最適な組み合わせと高度な DSP 制御により、ダイナミクス、音の再現性をキープしながら、高い音圧レベルを実現しました。3 ウェイモデル『DZR315』は、8 インチの大型 MF (中域) スピーカーユニットを搭載し、高い分解能と最大音圧レベル 143dB SPL peak@1m を実現しています。



高効率 2,000W クラス D アンプ



スピーカー-LF ユニット

3. 過酷な現場に耐える、堅牢なエンクロージャーデザイン

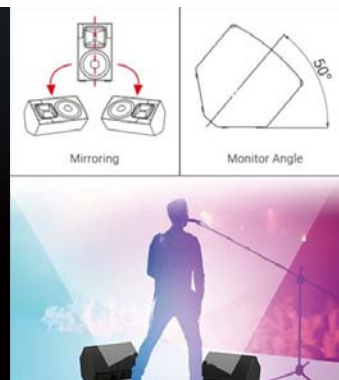
『DZR シリーズ』『DXS XLF シリーズ』は、現場での多様な使用方法を想定し、エンクロージャーに強固なプライウッドを使用し、塗装には優れた耐傷性を誇るポリウレタ塗装を採用しました。過酷な屋外使用時における劣化や運搬時の外傷からキャビネットを守ります。

4. 幅広い用途に対応し、設置性に優れたデザインと汎用性の高いオプション品

『DZR シリーズ』の 2 ウェイモデルでは、ホーンのローテーションによって、縦・横いずれの設置状況においても、最適なカバーエリアが提供可能です。エンクロージャーには、吊り下げ設置のための豊富なリギングポイントや到達範囲に応じて 2 つのポジションに対応したポールマウント用ソケットを装備し、また、オプションの U ブラケットを装着すれば、水平・垂直のいずれでも設置が可能です。さらに、『DZR15』『DZR12』『DZR10』はフロアモニターとしての設置が可能で、『DZR15』『DZR12』は左右対称のミラー設置にも対応し、状況に応じて柔軟なセッティングができます。『DXS XLF シリーズ』は、ねじ込み式 M20 と挿し込み式 35mm の 2 種類のポールに対応した「デュアル・ポールソケット」を装備し、可搬性を高めるオプションキャスター（別売）が装着可能です。加えて、屋外での使用や倉庫での保管を目的とした多機能スピーカーカバー（別売）も用意しています。



ローテータブルホーン



フロアモニターミラー設置
※『DZR15』使用イメージ

『DZR シリーズ』『DXS XLF シリーズ』は、今後、オーディオネットワーク規格「Dante」に対応したモデルをラインアップ追加する予定です。発売は本年度内を予定しています。

『CZR シリーズ』 『CXS XLF シリーズ』

1. 多彩な用途に対応するパッシブ SR ラウドスピーカー

『CZR シリーズ』 『CXS XLF シリーズ』 は、『DZR シリーズ』 『DXS XLF シリーズ』 とエンクロージャーや主要コンポーネントを共通仕様にしたパッシブ SR ラウドスピーカーです。『CZR シリーズ』 は、高耐入力、高音質で多彩な用途に対応しており、低域を補強するサブウーファー 『CXS XLF シリーズ』 を組み合わせて使用することで、29Hz からの迫力ある低音再生が可能です。LF（低域）スピーカーユニットは、『CZR シリーズ』 は3インチ、『CXS XLF シリーズ』 は4インチのボイスコイルを採用した高耐入力、低歪設計とし、輪郭を損ねない強力な低音を実現します。HF（高域）スピーカーユニットは、2インチボイスコイル・1インチスロートの再現能力に優れたコンプレッションドライバーと指向制御に優れた CD ホーンとの組み合わせにより、優れたダイナミクス、明瞭度、遠達性を獲得しています。また、『CZR シリーズ』 は、ホーンのローテーションが可能で、縦・横いずれの設置状況においても最適なカバーエリアを提供します。さらに現場での多様な使用方法を想定し、エンクロージャーに強固なプライウッドを使用し、塗装には優れた耐傷性を誇るポリウレタ塗装を採用しました。過酷な屋外使用時における劣化や運搬時の外傷からキャビネットを守ります。

2. パワーアンプ「PX シリーズ」との最適な音響システムの構築

パワーアンプ「PX シリーズ」は、『CZR シリーズ』 『CXS XLF シリーズ』 に最適な DSP 設定を、プリセットで搭載します*。アンプ、スピーカーの最適な組み合わせと高度な DSP 制御により、ダイナミクス、音の再現性をキープしながら、スピーカーのパフォーマンスを最大化し、高い音圧レベルを実現します。また、『CXS XLF シリーズ』 は、サブウーファーを複数台使用する「カーディオイドモード」や、HF（高域）/LF（低域）のスピーカーユニットを各々ドライブする「バイアンプモード」にも対応します。

※ ファームウェア更新にて対応予定です。

3. 幅広い用途への対応と汎用性の高いオプション品

エンクロージャーには、吊り下げ設置のための豊富なリギングポイントや到達範囲に応じて 2 つのポジションに対応したポールマウント用ソケットを装備しています。また、オプションの U ブラケットを装着すれば、水平・垂直のいずれでも設置ができるので、壁設置、天井吊りなどの用途に合わせた最適な設置方法を選択できます。さらに、『CZR15』 『CZR12』 『CZR10』 は、フロアモニターとしての設置が可能で、『CZR15』 『CZR12』 は、左右対称のミラー設置にも対応し、状況に応じて柔軟なセッティングができます。『CXS XLF シリーズ』 は、ねじ込み式 M20 と挿し込み式 35mm の 2 種類のポールに対応した「デュアル・ポールソケット」を装備し、可搬性を高めるオプションキャスター（別売）が装着可能です。加えて、屋外での使用や倉庫での保管を目的とした多機能スピーカーカバー（別売）も用意しています。



U ブラケットを使用した設置イメージ
(左) 垂直設置 (右) 水平設置 ※ともに『CZR15』を使用

※今回の新製品の詳細については、ヤマハ プロオーディオサイトをご参照ください。
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>



ヤマハ パワードスピーカー 『DZR シリーズ』
ヤマハ パワードサブウーファー 『DXS XLF シリーズ』



ヤマハ スピーカーシステム『CZR シリーズ』
ヤマハ サブウーファー『CXS XLF シリーズ』

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

メディアリレーショングループ 担当：佐藤

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

プロオーディオ・インフォメーションセンター

TEL 0570-050-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

(電話受付：祝祭日を除く月～金/11:00～18:00)

ウェブサイト <http://jp.yamaha.com/support/>